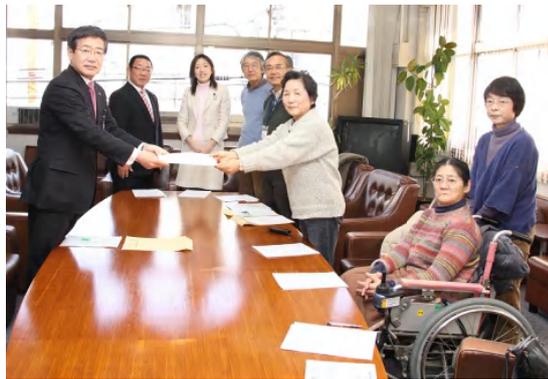


越谷・草加・春日部市長に提言を行い懇談しました

越谷市・高橋努市長には前号で報告したとおり12月21日に提言を行いました。



●草加市長に提言を行いました

草加市・田中和明市長には、1月21日に提言を行いました。同市で地域活動支援センターを運営し、パンの製造・販売や公共施設の売店業務を行っているNPO法人障害者自立支援センターめだかの代表理事・坂口鶴子さんから提言書を手渡していただきました(上の写真)。山川百合子県議、関一幸市議も立ち会っていただきました。

特別支援学校の教員を退職した参加者からは子どものころから分けられてきた生徒たちが職場や地域で孤立している状況が述べられました。めだか工房施設長は市の業務の中で施設等の障害者が共に働く機会の提供を検討できないかと述べました。

これらを受けて市長は、現在草加公園の清掃作業を障害者施設に委託しているが、今後もさらに検討を進めると述べました。

また、越谷市が開催する地域適応支援事業の公開報告交流会に、草加市の職員も派遣するので案内をほしいと話されていました。

昨年12月の共に働く街を創るつどい2012の終わりに発表した「共に働く街をめざす提言」を越谷・草加・春日部の市長に直接手渡し、懇談・意見交換を行いました。

3市への提言は1999年から毎年この時期に行っており、今回で14回目になります。対応して下さった市の皆さまをはじめ、参加者の皆さま、ありがとうございました。

●春日部市長に提言を行いました

春日部市・石川良三市長には2月7日に提言を行いました(下の写真)。参加者からは特別支援学校で進路指導を担当した立場から、卒業後の就労・生活の厳しさとの中で施設でなく街で生きたいと活動している教え子のような話が語られました。また、越谷市民ながら春日部市の事業所に就職したばかりの人や春日部市民ながら越谷市の通所施設利用者として越谷市役所で職場実習を終えた人の報告もありました。市内施設が独自に開拓した工業団地での工場敷地の除草作業も報告されました。

約束の時間が過ぎ市長が退席された後も、部長、課長他の職員が残り懇談しました。

その中で、市からは障害者とシルバー人材とがコラボで働く機会について、具体的な職場が提示されれば調整の労はいとわないと話されました。また越谷の公開報告交流会への職員派遣についても、案内をほしいと答えられました。

「みなさんの話を聞くといつも勇気もらえる」とうれしい言葉もいただきました。



市の仕事って生きた人間が担ってるんだよ

第47回共に働くまちを拓くべんきょう会 永野 勝さん（越谷市職員組合委員長）

私たちは「市」というと、あの市役所の「建物」をイメージしたり、その中の障害福祉課とか就業支援課とかいった「仕組み」やそこが担当する「施策」をイメージするのではないのでしょうか。

しかし、ともすれば忘れてのこと…これらのすべては生身の人間によって担われているんだということ。今回はそこに焦点をあててみたいと思います。

ふりかえれば、越谷市障害者就労支援センター発足の土台ともなった障害者地域適応支援事業のさきがけは、市職員組合の協力で実施された市立病院組合事務所での知的障害者の支援付き実習でした。

なぜ市職員組合が受け入れに踏み切ったのか？それは組合がずっと前から自分たちの職場の中での格差、そこに発する差別に対して目をつぶらずに取り

組んできたからです。そして、地域で生きる人々に対してもお客様としてだけでなく共に生き・共に働き・共に考え・試みる者同士として向かい合おうという志を絶やさずに来たからでした。

あらためていま「市」の中心で、また周辺で、「市」を担う人間たちの生き方、働き方、悩みと希望にふれたいと思います。

共に働くまちを拓こうという私たちの前に、「市」という世界が横たわっています。つい先日も市長への施策提言を行いました。学校、調達、公共事業、入札、起業、施設外就労、ピア…。しかし、そこにはいつも「人間」がいます。人と人がどんな位置で出会うのか、どう関わり合えるのか？学び、考え合い、新たな一歩を進めたいと思います。

「市の仕事って



生きた人間が担ってるんだよ」

永野 勝さん

（越谷市職員組合委員長）

越谷市中央市民会館 5階 第7会議室

3月1日(金) 18:30～21:00

このべんきょう会は、障害者が地域で働くというテーマをきっかけにしながら、障害のない人の働き方や暮らし方を含めて、フリーに語り合おうという会です。1回、1回、話し手をお願いし、そのお話を口火にしておしゃべりしますので、初めての方でもどうぞおいで下さい。

今回は、当会の発足から現在まで、さまざまなご協力をいただきながら、縁の下の力持ちに徹して来られた市職員組合の委員長・永野さんをお招きします。

終了後お時間のある方は、近くのファミレスで、おしゃべりの続きを楽しみましょう。



越谷市中央市民会館

5階 第7会議室

会費：200円(資料代)

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

048-964-1819 (職場参加ビューロー一世一緒)

第47回 共に働くまちを拓くべんきょう会



ほむいし ほしじ

当会の事業インフォメーションあれこれページ。(左の絵は世一緒スタッフ・新井里佳.さん作)

▷本部事業

○世一緒は未就労の障害者が電話番をしています

本部事業の拠点である「職場参加ビューロー・世一緒」は、専従職員がいません。月～金の10:00～16:00は、就労支援センターの利用者等の中から希望者を募り、職業体験の一環として、日替わりで電話番や掃除、来所者への説明、印刷・製本などの日常業務を担ってもらい、若干の謝金または実習手当を支給しています。

世一緒に来所や電話をされる時は、お手数ですが、できるだけわかりやすい言葉で、短く、ゆっくりお話いただければ幸いです。

ここは公的機関ではなく当会のインフォメーションセンターです。ご予約なしでもりかかりにお立ち寄りいただいてもかまいません。要領を得ない説明をするかもしれませんが、お時間があればその都度ご質問いただきながら説明させていただければと思います。さまざまな人々が出会うための社会実験の場として開設しています。

●世一緒の新人さんからひとこと(林 和久)

こしがやにしようごがっこうにいました。1年生のときはこうないで車のせんしゃをしました。あとは、しょうゆのばりとりをしました。

2ねんのときは、げんぱじっしゅうにいきました。いわつきのコンパニョせいかにいきました。くつのごとをしました。あとはクリーニングやにいきました。3ねんせいのときはさかぜんにいきました。さかぜんにしょうしょくしました。ぼくはがんばっていきました。やなことをでしごとにいけなくなりました。

▷委託事業 (越谷市障害者就労支援センター)

こちらは市の機関で、当会が委託を受けて運営している場です。職員の数が限られ、職場や関係機関へ訪問することも多いため、予めお電話をいただき、調整させていただければ、十分な時間をかけたお話ができます。特に下記のガイダンス、セミナーは事前に電話等でご連絡をお願いします。

●就労支援センターガイダンスが、3月11日(月)、4月10日(水)、5月9日(木) (いずれも10:00～12:00)、セミナーが、3月14日(月)、4月16日(火)、5月14日(火) (いずれも13:00～16:00)に開かれます

ガイダンスでは、個別相談だけでは十分にお伝えしきれないセンターのさまざまな活用方法について、わかりやすくご説明します。そのときどきの旬の情報もお知らせします。疑問・質問にもお答えします。何度でもご参加ください。

セミナーは、毎月テーマを決めワークショップ形式で行います。

会場はいずれも原則、産業雇用支援センター4階です。

●職場参加を語る会が、3月13日(水)、4月17日(水)、5月に開かれます。10:00～12:00です。

未就労の人、就労中の人、支援者、家族…誰でもふらりと参加できる近況報告や情報交換の場です。お気軽に。

会場は世一緒です。

●2012年度の公開報告交流会

地域適応支援事業がすべて終了した後に昨年度から公開で行っている報告交流会は3月26日(火)開催です。



当会の目的

この法人は、地域の事業所、福祉施設、学校、在宅障害者と家族、市民に対して障害者の職場参加活動を啓蒙、普及、促進する事業を行い、障害者の多様な働きかたの実現をめざし、労働と福祉の障壁の解消を図るとともに、共に育ちあい、働きあい、暮らしあうまちづくりを通して、もって地域社会の発展に寄与することを目的とする。

(定款第3条)

当会の事業

- ・特定非営利活動に係る事業
- ・職場参加の基盤形成のための支援事業
- ・福祉施設等の職場参加に関する協力関係の促進を図る事業
- ・障害者の就労・生活支援のための資料収集と情報提供に関する事業
- ・啓蒙と地域の輪を広げるための勉強会等を開催する事業
- ・国、自治体に対して施策を提言する事業
- ・協力事業所の開拓に関する事業 (定款第5条)

会員募集

障害者の職場参加をすすめる会では趣旨に御賛同いただける方を常時募集しています。

正会員

年会費 3,000円

賛助会員

個人年会費 3,000円

団体年会費 5,000円